

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	今西 裕香
全体計画						経費区分	-		内線	3615	
事務事業名	4273 健康管理事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100701 教育費・保健体育費・保健体育総務費									
	事業	020000 健康管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
学校保健安全法に基づき、健康に疾患を有する児童・生徒及び学校職員を可及的早期に発見し、健康の保持促進を図るため、健康診断、その他学校保健に必要な予防対策を講じる。						学校は、大勢の児童生徒が学び、集団生活をする場として、安全で有意義な学校生活を送れる環境が必要である。さらに、児童・生徒・教職員の健康の保持増進は、学校教育における学習能率の基礎となり、学校教育の円滑な実施とその成果につながる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施
平成29年度 実績	平成30年度 予定
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施
平成31年度 予定	平成32年度 予定
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		24,338	25,042
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	11	20
一般財源		24,327	25,022
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,574.5	3,574.5
	嘱託職員	276.6	276.6
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,851.1	3,851.1
市民一人当たりの経費		0.5	0.6
総額		28,189.1	28,893.1

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,506	医師等謝礼
11節 需用費	80	食糧費、医薬材料費
13節 委託費	6,529	検査委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	66	学校医会負担金、結核対策委員会負担金
その他	16,157	機器賃借料ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,662	医師等謝礼
11節 需用費	180	食糧費、医薬材料費
13節 委託費	7,660	検査委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	97	学校医会負担金、結核対策委員会負担金
その他	15,443	機器賃借料、備品購入費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童・生徒、教職員の健康の保持増進は、学校教育における学習能力の基礎となり、学校教育の円滑な実施とその成果に繋がるため必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童・生徒、教職員の疾病の早期発見及び健康管理の推進が図られた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	医師、検査機関、学校が連絡を取り合い、効率的に実施できるようにしている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生活習慣病検査において、指導が必要な児童・生徒には、養護教諭が食事・運動・生活等の指導を行い、健康の増進に努めている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

児童生徒及び教職員の健康管理上、必要な事業。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

児童生徒及び教職員の健康管理上、必要な事業。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--